

2025年3月期 第1四半期

連結決算の概要



株式会社有沢製作所

2024年8月8日

目次

- 2025年3月期 第1四半期 連結決算
- 2025年3月期 業績予想
- 参考資料

2025年3月期 第1四半期 連結決算

(百万円)

	24年3月期 1Q 実績	25年3月期 1Q 実績	前年 同期比
売上高	9,494	12,080	27.2%
営業利益	-247	1,069	--
営業利益率	-2.6%	8.8%	--
経常利益	-172	1,344	--
当期純利益	-201	970	--
一株利益 (円)	-6.10	29.28	--
為替レート (円/\$) 平均	132.42	148.63	--
期末	144.99	161.07	--

- ・ 連結売上高は、電子材料、産業用構造材料およびディスプレイ材料が増加し、前年同期比25億86百万円（27.2%）の増収となり、営業利益以下が黒字に転換した。
- ・ 営業利益は、売上高の増加に伴い同13億16百万円の増益。
- ・ 経常利益は、前年同期に比べ為替差益が増加し、同15億16百万円の増益。
- ・ 当期純利益は、同11億71百万円の増益。

貸借対照表

(百万円)

	24.3月	24.6月	増減	
(資産の部)				
流動資産	47,097	48,898	1,801	売掛債権 +1,579 棚卸資産 +918
有形固定資産、無形固定資産	18,345	18,884	539	設備投資による
投資有価証券	2,327	2,386	59	
その他の資産	1,047	990	-57	
資産合計	68,816	71,158	2,342	
(負債の部)				
流動負債	19,423	21,454	2,031	買掛債務 +832 賞与引当金 +490 未払法人税等 +221 短期借入金 +216
固定負債	3,147	3,148	1	長期借入金 -188 リース債務 +193
負債合計	22,570	24,602	2,032	
株主資本	42,867	42,537	-330	利益剰余金 -358
その他包括利益合計、新株予約権	3,379	4,019	640	為替換算調整勘定 +548
純資産合計	68,816	71,158	2,342	

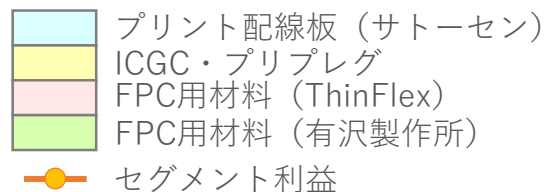
2025年3月期 第1四半期の前年同期比増減分析



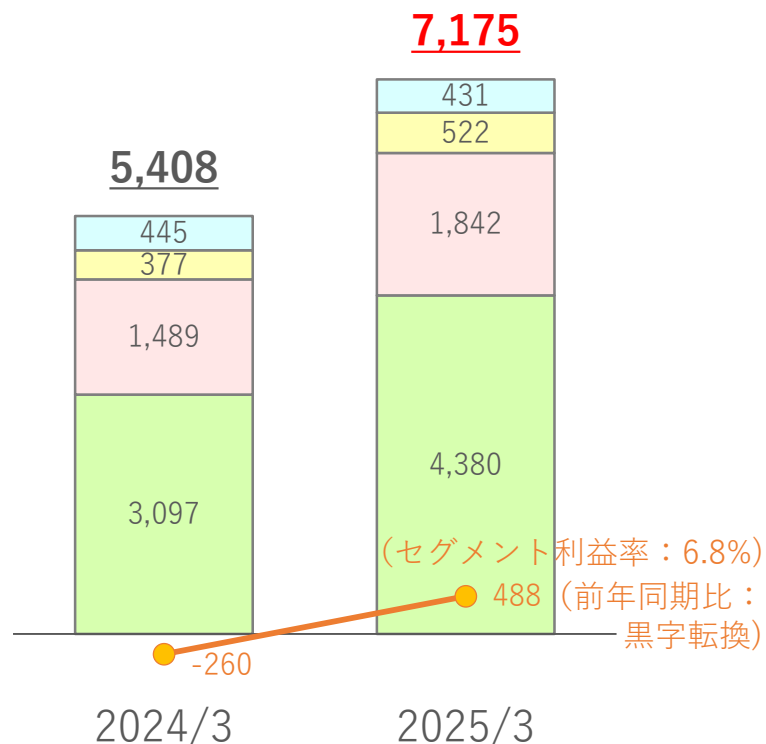
	売上高 (百万円)			セグメント利益 (百万円)		
	24.3月期 実績	25.3月期 実績	増減	24.3月期 実績	25.3月期 実績	増減
電子材料	5,408	7,175	1,767	-260	488	748
FPC用材料 (有沢製作所)	3,097	4,380	1,283			
FPC用材料 (ThinFlex)	1,489	1,842	353			
ICGC、プリプレグ	377	522	145			
プリント配線板 (サトーセン)	445	431	-14			
産業用構造材料	2,654	2,888	234	240	461	221
ハニカムパネル	417	392	-25			
水処理用FRP製圧力容器	1,654	1,885	231			
その他	583	611	28			
電気絶縁材料	583	575	-8	16	-11	-27
ディスプレイ材料	766	1,346	580	126	515	389
関連商品・その他	83	96	13	49	57	8
合計	9,494	12,080	2,586	171	1,510	1,339
			全社費用	-418	-441	
			営業利益	-247	1,069	1,316

- ・ 連結売上高は、電子材料、産業用構造材料およびディスプレイ材料が増加し、前年同期比25億86百万円（27.2%）の増収。
- ・ 営業利益は、電子材料、産業用構造材料およびディスプレイ材料の売上高の増加に伴い13億16百万円の増益。
- ・ 電子材料は、スマートフォンやタブレットの需要増加により、売上高は同32.7%の増収。
- ・ 産業用構造材料は、水処理需要が好調に推移していることより、売上高は同8.8%の増収。
- ・ ディ스플레이材料は、医療用3Dモニター、偏光利用部材が伸長し、売上高は同75.9%の増収。

電子材料 売上高



(百万円)



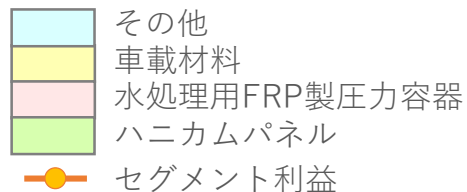
市場

- 中華系スマートフォン、および半導体の需要の停滞はようやく回復し始めたものの、コロナ前の水準には戻っていない。

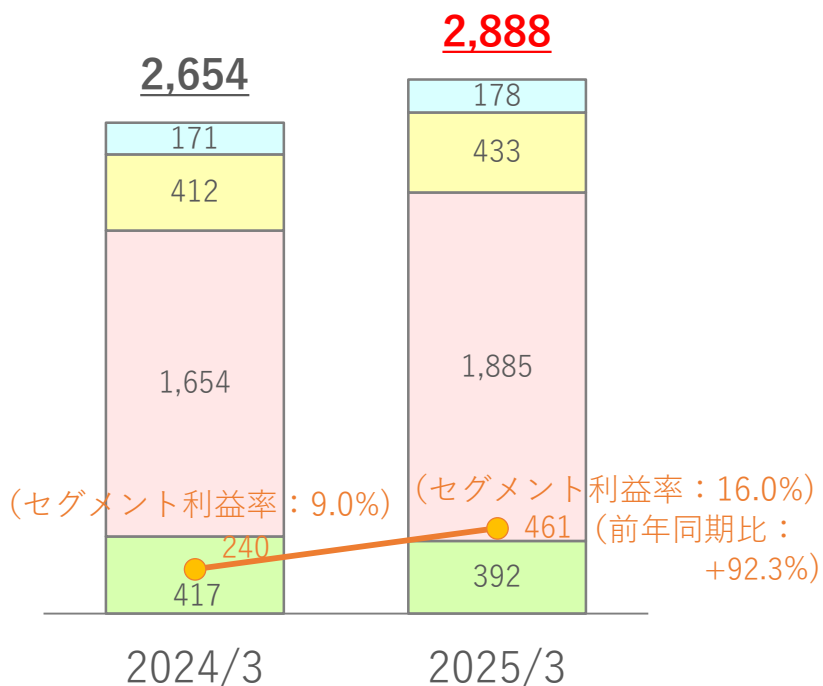
業績

- FPC用材料、ICGCが増加し、前年同期比 17億67百万円 (32.7%) の増収。
 - FPC用材料(有沢製作所)は、スマートフォンおよびタブレットの予想を上回る需要増加により、同41.4%増収。
 - FPC用材料(ThinFlex)は、中華系スマートフォンの需要回復により、同23.7%増収。
 - ICGC・プリプレグは、同38.5%増収。
- 売上高の増加により、セグメント利益は黒字に転じた。

産業用構造材料 売上高



(百万円)



市場

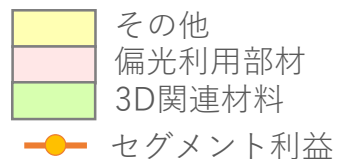
- ・世界的な水需要の増加により飲料水・工場用水などの水処理用材料が好調に推移している。
- ・コロナ後の経済正常化に伴い航空需要は回復しているものの、航空機用材料は緩やかな回復にとどまる。
- ・また、環境負荷低減に向けた新エネルギーの開発が活発化しており、当社においても開発案件が増えている。

業績

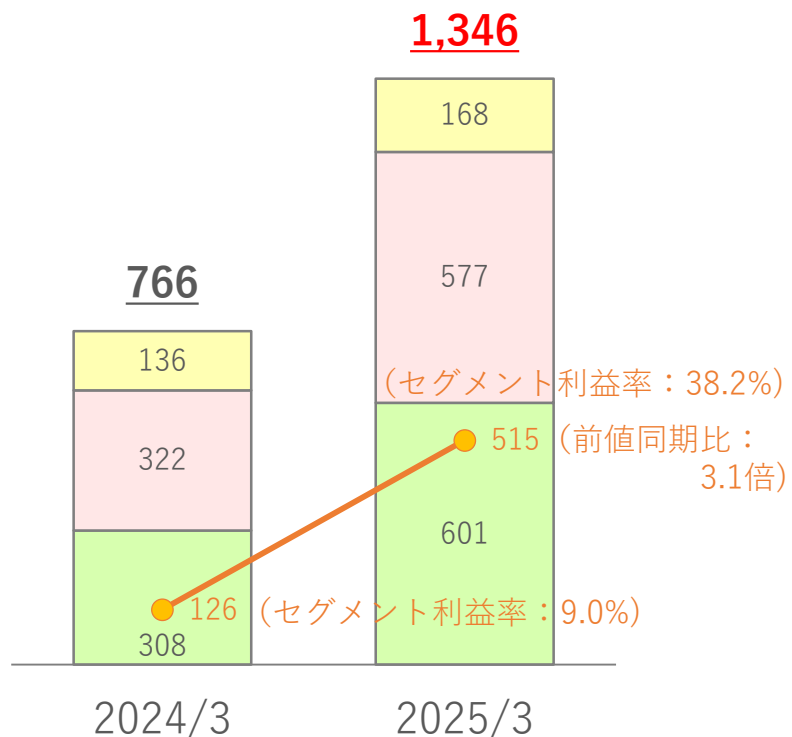
- ・航空機内装用ハニカムパネルは前年同期比5.8%減収。
- ・水処理用FRP製圧力容器は前期に引き続き好調を維持。為替の影響などもあり同13.9%増収。
- ・車載材料は、同4.9%増収。
- ・水処理用FRP製圧力容器の増収により、セグメント利益は同2億21百万円の増益。

2025年3月期 第1四半期の概況 ..ディスプレイ材料

ディスプレイ材料 売上高



(百万円)



市場

- ・ 3D関連材料は、医療用モニターを受注が活発であった。なお、医療用途以外への展開を図るため、産業分野の開拓活動を始めている。
- ・ AR、VR関連で、偏光利用部材の需要が拡大している。

業績

- ・ 3D関連材料は、前倒し受注もあり前年同期比95.4%増収。
- ・ 偏光利用部材は、為替の影響もあり同78.8%増収。
- ・ 増収により、セグメント利益は同3億89百万円の増益。

目次

- 2025年3月期 第1四半期 連結決算
- 2025年3月期 業績予想
- 参考資料

■ 上期連結業績予想（前年同期・5月9日予想との比較）



(百万円)

	24年3月期 上期 実績	25年3月期 上期 5/9予想	25年3月期 上期 8/8予想	前年同期 比	5/9予想 比
売上高	19,895	23,500	24,300	22.1%	3.4%
営業利益	169	1,500	1,900	11.2倍	26.7%
営業利益率	0.9%	6.4%	7.8%		
経常利益	218	1,600	2,100	9.6倍	31.3%
当期純利益	563	1,100	1,500	2.7倍	36.4%
一株利益 (円)	17.02	33.10*	45.21**	165.6%	36.6%
配当金 (円)	20.00	42.00	42.00	--	--
為替レート (円/\$) 平均	135.00	148.00	152.36		
期末	149.58	143.00	150.00	--	--

前年同期比

- ・連結売上高は、電子材料、産業用構造材料およびディスプレイ材料が増加し、前年同期比44億5百万円（22.1%）の増収と予想する。
- ・営業利益は、売上高の増加により同17億31百万円（11.2倍）の増益と予想する。
- ・経常利益は、同9.6倍の増益と予想する。
- ・当期純利益は、同2.7倍の増益と予想する。前年同期は、有価証券売却益により、当期純利益が経常利益を上回った。

5/9予想比

- ・主に電子材料とディスプレイ材料が好調に推移し、連結売上高は前回予想と比べ8億円（3.4%）の増収と予想する。
- ・売上高の増加により、営業利益は同26.7%、経常利益は同31.3%、当期純利益は同36.4%の増益と予想する。

* 3月31日現在の発行済株式数で試算
** 6月30日現在の発行済株式数で試算

2025年3月期 上期予想の前年同期比増減分析



	売上高 (百万円)			セグメント利益 (百万円)		
	24.3月期 実績	25.3月期 8/8予想	増減	24.3月期 実績	25.3月期 8/8予想	増減
電子材料	11,726	14,700	2,974	-210	1,100	1,310
FPC用材料 (有沢製作所)	6,725	8,300	1,575			
FPC用材料 (ThinFlex)	3,408	4,500	1,092			
ICGC、プリプレグ	740	1,000	260			
プリント配線板 (サトーセン)	853	900	47			
産業用構造材料	5,101	6,000	899	572	950	378
ハニカムパネル	913	800	-113			
水処理用FRP製圧力容器	3,128	4,000	872			
その他	1,060	1,200	140			
電気絶縁材料	1,233	1,100	-133	114	50	-64
ディスプレイ材料	1,667	2,300	633	420	600	180
関連商品・その他	158	200	42	99	100	1
合計	19,895	24,300	4,405	995	2,800	1,805
			全社費用	-826	-900	
			営業利益	169	1,900	1,731

市場予想

- ・ 中華系スマートフォン、半導体の需要停滞は回復しつつある。
- ・ 水処理用FRP製圧力容器、3D医療用モニター、偏光利用部材も堅調に推移する。

業績予想

- ・ 売上高は前年同期比22.1%の増収、営業利益は同11.2倍の増益と予想する。
- ・ 電子材料は主にFPC用材料、産業用構造材料は水処理用FRP製圧力容器、ディスプレイ材料は3D医療用モニター、偏光利用部材の売上増により増益を見込む。

2025年3月期 上期予想の5/9予想比増減分析

	売上高 (百万円)			セグメント利益 (百万円)		
	25.3月期 5/9予想	25.3月期 8/8予想	増減	25.3月期 5/9予想	25.3月期 8/8予想	増減
電子材料	14,300	14,700	400	900	1,100	200
FPC用材料 (有沢製作所)	7,700	8,300	600			
FPC用材料 (ThinFlex)	4,500	4,500	0			
ICGC、プリプレグ	1,200	1,000	-200			
プリント配線板 (サトーセン)	900	900	0			
産業用構造材料	5,900	6,000	100	950	950	0
ハニカムパネル	850	800	-50			
水処理用FRP製圧力容器	3,600	4,000	400			
その他	1,450	1,200	-250			
電気絶縁材料	1,200	1,100	-100	100	50	-50
ディスプレイ材料	1,950	2,300	350	350	600	250
関連商品・その他	150	200	50	100	100	0
合計	23,500	24,300	800	2,400	2,800	400
			全社費用	-900	-900	
			営業利益	1,500	1,900	400

市場予想

- ・ 中華系スマートフォン、半導体の需要停滞は回復しつつある。
- ・ 水処理用FRP製圧力容器、3D医療用モニター、偏光利用部材も堅調に推移する。

業績予想

- ・ 売上高は5/9予想比3.4%の増収、営業利益は同26.7%の増益と予想する。
- ・ 電子材料はFPC用材料、産業用構造材料は水処理用FRP製圧力容器、ディスプレイ材料は3D医療用モニター、偏光利用部材の売上増により増益を見込む。

■ 通期連結業績予想（前期・5月9日予想との比較）

(百万円)

	24年3月期 通期 実績	25年3月期 通期 5/9予想	25年3月期 通期 8/8予想	前期比	5/9予想 比
売上高	42,114	48,900	48,900	16.1%	0.0%
営業利益	1,483	3,200	3,200	2.2倍	0.0%
営業利益率	3.5%	6.5%	6.5%		
経常利益	1,488	3,300	3,300	2.2倍	0.0%
当期純利益	1,639	2,400	2,400	46.4%	0.0%
一株利益（円）	49.51	72.30*	72.33**	46.1%	0.0%
配当金（円）	合計 60.00	合計 84.00	合計 84.00	--	--
為替レート （円/\$）	平均 140.67 期末 151.41	145.00 143.00	145.00 143.00	--	--

* 3月31日現在の発行済株式数で試算

** 6月30日現在の発行済株式数で試算

前期比

- ・連結売上高は、電子材料、産業用構造材料およびディスプレイ材料が増加し、前期比67億86百万円（16.1%）の増収と予想する。
- ・営業利益は、売上高の増加により同17億17百万円（2.2倍）の増益と予想する。
- ・経常利益は、同2.2倍の増益。
- ・当期純利益は、同46.4%の増益。前期は、有価証券売却益により、当期純利益が経常利益を上回った。

5/9予想比

- ・現時点では不確定な要因があることから、通期は5/9予想を据え置く。

2025年3月期 通期予想の前期比増減分析



ARISAWA

	売上高 (百万円)			セグメント利益 (百万円)		
	24.3月期 実績	25.3月期 8/8予想	増減	24.3月期 実績	25.3月期 8/8予想	増減
電子材料	25,105	29,800	4,695	260	2,000	1,740
FPC用材料 (有沢製作所)	13,814	15,700	1,886			
FPC用材料 (ThinFlex)	7,852	9,900	2,048			
ICGC、プリプレグ	1,741	2,300	559			
プリント配線板 (サトーセン)	1,698	1,900	202			
産業用構造材料	10,602	12,000	1,398	1,476	1,800	324
ハニカムパネル	1,818	1,800	-18			
水処理用FRP製圧力容器	6,044	7,300	1,256			
その他	2,740	2,900	160			
電気絶縁材料	2,533	2,400	-133	315	120	-195
ディスプレイ材料	3,535	4,300	765	940	900	-40
関連商品・その他	339	400	61	199	180	-19
合計	42,114	48,900	6,786	3,190	5,000	1,810
			全社費用	-1,707	-1,800	
			営業利益	1,483	3,200	1,717

市場予想

- ・ 中華系スマートフォン、半導体の需要回復が続く。
- ・ 水処理用FRP製圧力容器、3D医療用モニター、偏光利用部材も堅調に推移する。

業績予想

- ・ 売上高は前期比16.1%の増収、営業利益は同2.2倍の増益と予想する。
- ・ 電子材料は主にFPC用材料、産業用構造材料は水処理用FRP製圧力容器の売上増により増益を見込む。



ARISAWA

2025年3月期 通期予想の5/9予想比増減分析

	売上高 (百万円)			セグメント利益 (百万円)		
	25.3月期 5/9予想	25.3月期 8/8予想	増減	25.3月期 5/9予想	25.3月期 8/8予想	増減
電子材料	30,000	29,800	-200	2,000	2,000	0
FPC用材料 (有沢製作所)	15,200	15,700	500			
FPC用材料 (ThinFlex)	10,400	9,900	-500			
ICGC、プリプレグ	2,500	2,300	-200			
プリント配線板 (サトーセン)	1,900	1,900	0			
産業用構造材料	12,300	12,000	-300	2,000	1,800	-200
ハニカムパネル	1,850	1,800	-50			
水処理用FRP製圧力容器	7,100	7,300	200			
その他	3,350	2,900	-450			
電気絶縁材料	2,500	2,400	-100	200	120	-80
ディスプレイ材料	3,800	4,300	500	600	900	300
関連商品・その他	300	400	100	200	180	-20
合計	48,900	48,900	0	5,000	5,000	0
			全社費用	-1,800	-1,800	
			営業利益	3,200	3,200	0

市場予想

- ・ 中華系スマートフォン、半導体の需要回復が続く。
- ・ 水処理用FRP製圧力容器、3D医療用モニター、偏光利用部材も堅調に推移する。

業績予想

- ・ 売上高、営業利益ともに全体では5/9予想を据え置く。
- ・ 電子材料はFPC用材料、産業用構造材料は水処理用FRP製圧力容器、ディスプレイ材料は3D医療用モニター、偏光利用部材の売上が堅調に推移する。
- ・ ただし、現在までの各セグメントの進捗状況を反映し、セグメント間で売上高、営業利益の調整を行っている。

目次

- 2025年3月期 第1四半期 連結決算
- 2025年3月期 業績予想
- 参考資料

■ 2025年3月期 第1四半期の5月9日予想との増減分析

	売上高 (百万円)			セグメント利益 (百万円)		
	25.3月期 5/9予想	25.3月期 実績	増減	25.3月期 5/9予想	25.3月期 実績	増減
電子材料	6,600	7,175	575	350	488	138
FPC用材料 (有沢製作所)	3,650	4,380	730			
FPC用材料 (ThinFlex)	1,900	1,842	-58			
ICGC、プリプレグ	600	522	-78			
プリント配線板 (サトーセン)	450	431	-19			
産業用構造材料	2,900	2,888	-12	500	461	-39
ハニカムパネル	400	392	-8			
水処理用FRP製圧力容器	1,850	1,885	35			
その他	650	611	-39			
電気絶縁材料	600	575	-25	50	-11	-61
ディスプレイ材料	1,000	1,346	346	200	515	315
関連商品・その他	100	96	-4	50	57	7
合計	11,200	12,080	880	1,150	1,510	360
			全社費用	-450	-441	
			営業利益	700	1,069	369

- ・ 電子材料とディスプレイ材料が予想を大きく上回った。

■ 会社別 第1四半期業績（前年同期比・予想比）



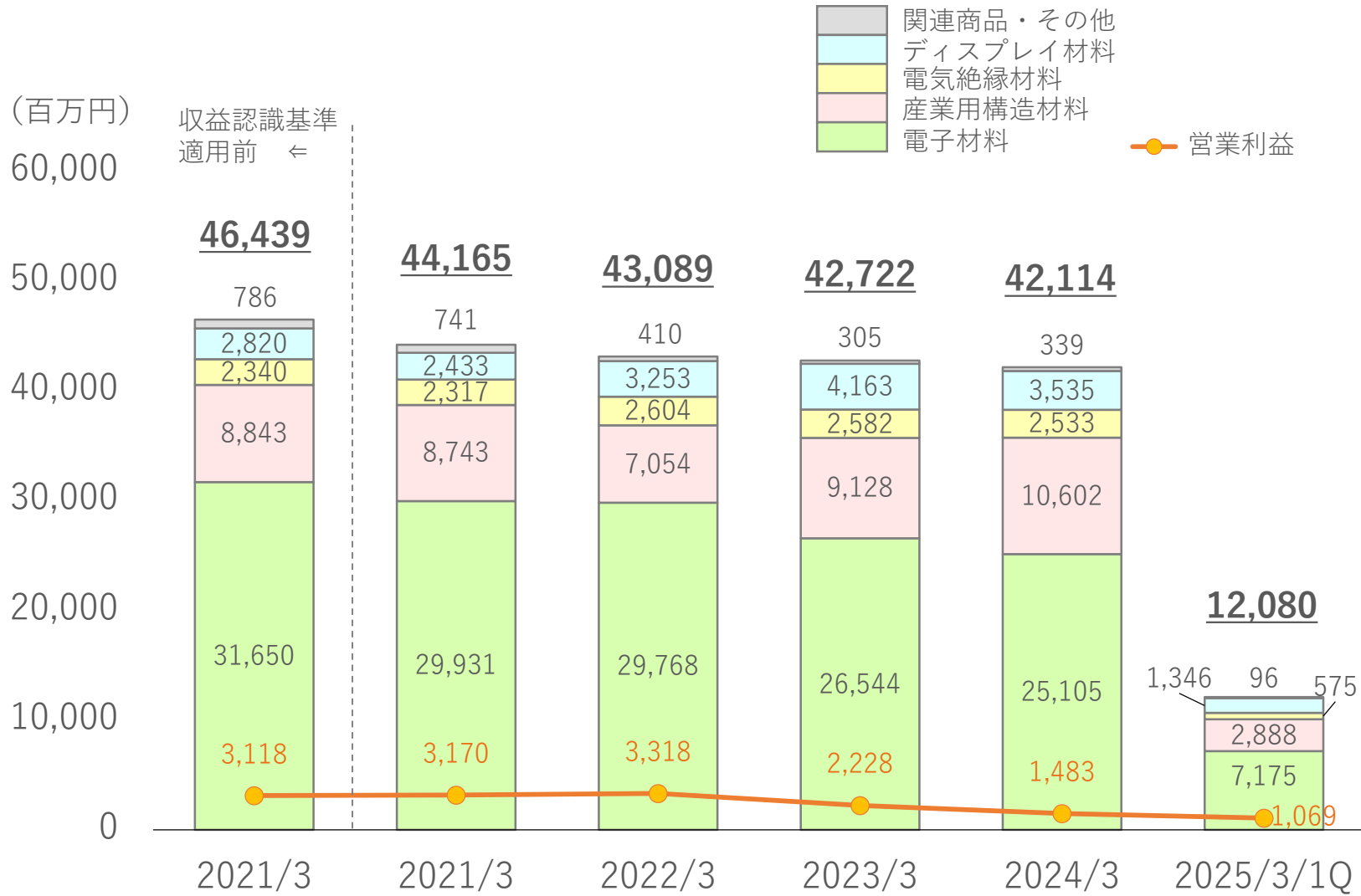
（百万円）

	売上高					営業利益				
	'24.3 実績	'25.3 予想 (5/9)	'25.3 実績	増減 対 前年同期 対予想		'24.3 実績	'25.3 予想 (5/9)	'25.3 実績	増減 対 前年同期 対予想	
単体										
有沢製作所	5,968	7,100	7,971	2,003	871	-119	320	625	744	305
連結会社										
シンフレックス	1,480	2,200	2,211	731	11	-248	-55	-53	195	2
サトーセン	445	450	431	-14	-19	-9	15	14	23	-1
アリサワファイバーグラス	344	550	540	196	-10	-136	10	-14	122	-24
プロテック	1,622	1,850	1,834	212	-16	261	360	356	95	-4
有沢総業	394	450	462	68	12	27	10	25	-2	15
有沢樹脂工業	67	50	53	-14	3	13	5	-4	-17	-9
カラーリンク・ジャパン	323	450	576	253	126	-15	35	121	136	86
(連結消去額)	-1,149	-1,900	-1,998			-21	0	-1		
合計	9,494	11,200	12,080	2,586	780	-247	700	1,069	1,316	369



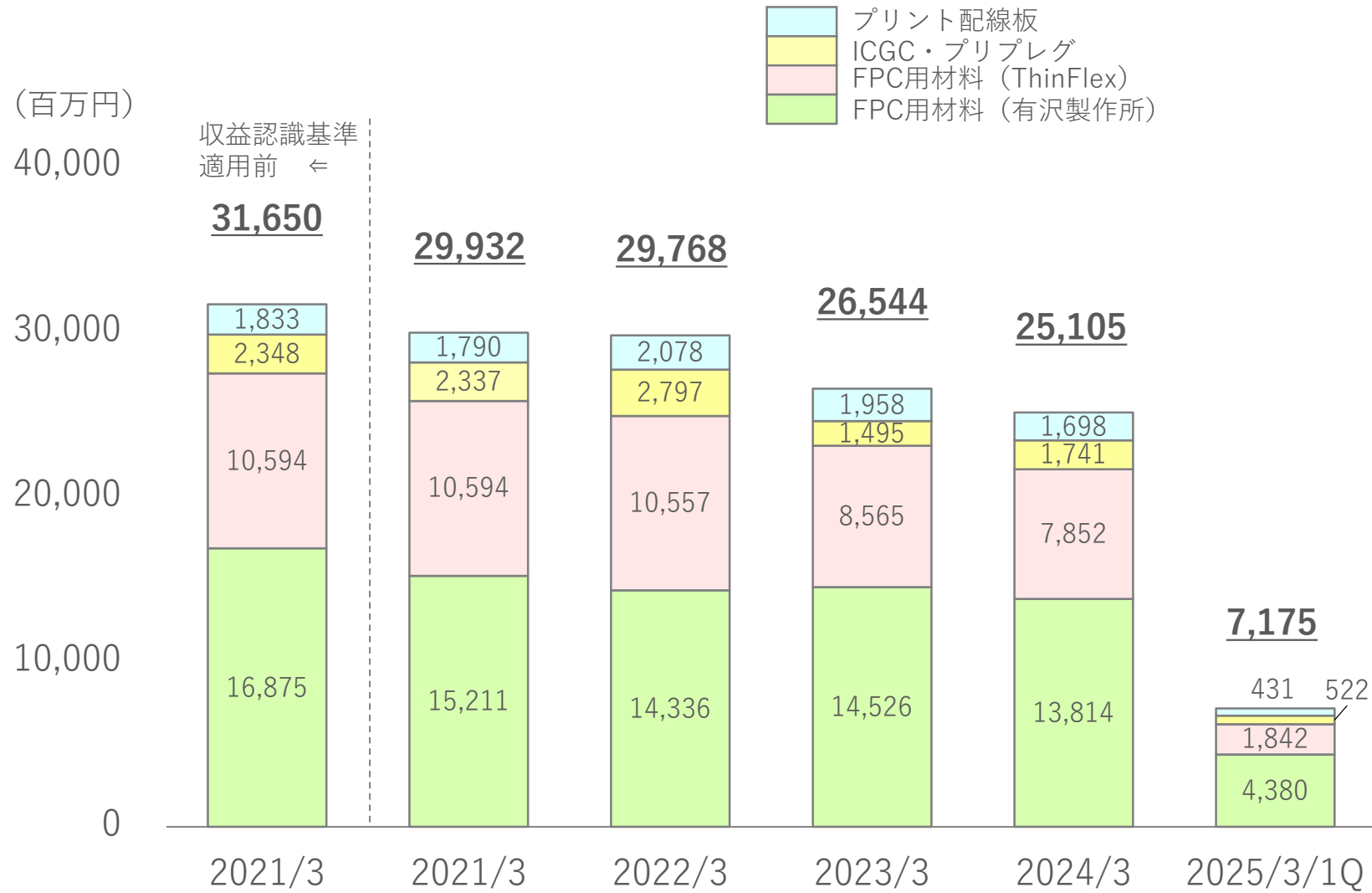
ARISAWA

■ 年度別／分野別の業績推移（売上高・営業利益）



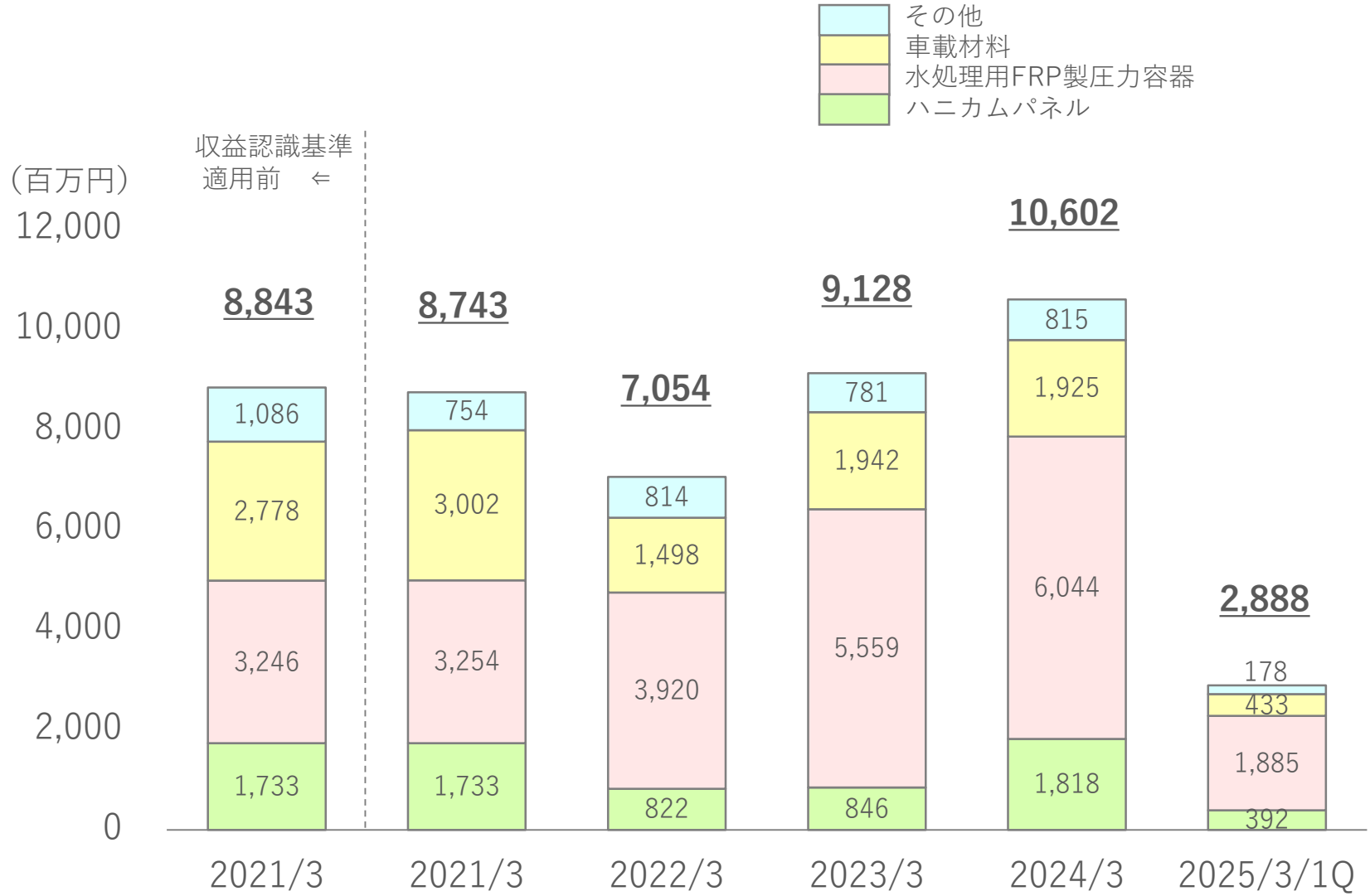
'22/3期から収益認識基準を適用。（参考として'21/3期も遡及適用）

■ 電子材料の売上高推移



'22/3期から収益認識基準を適用。（参考として'21/3期も遡及適用）

産業用構造材料の売上高推移



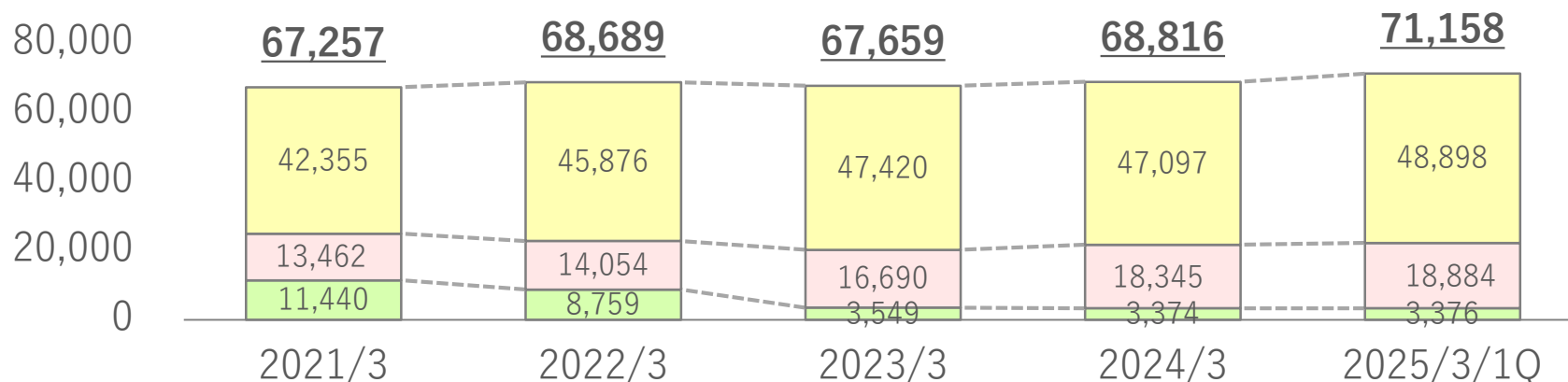
'22/3月期から収益認識基準を適用。（参考として'21/3期も遡及適用）

■ 連結貸借対照表（要旨）の推移

資産の部

(百万円)
100,000

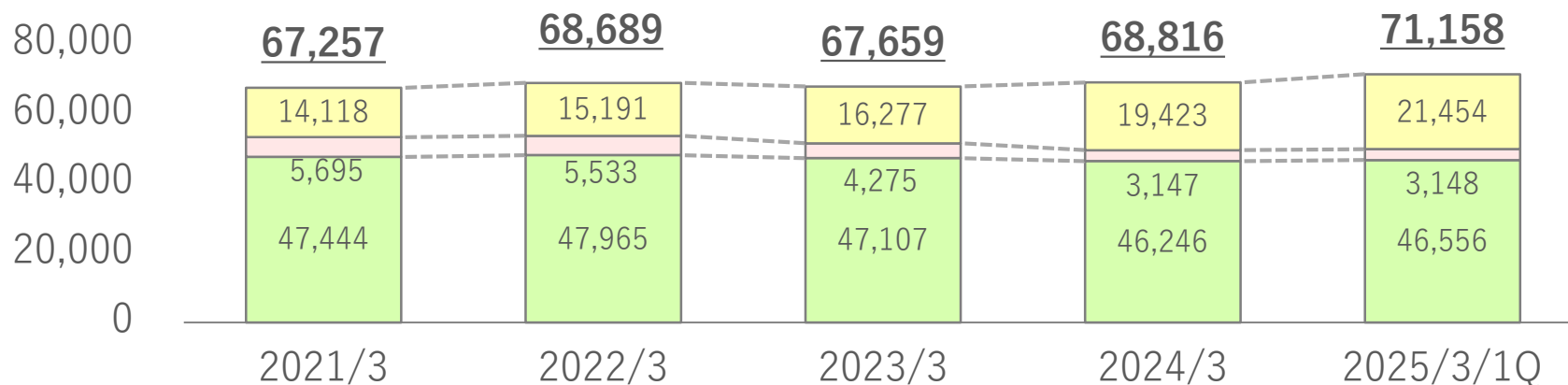
■ 投資・他資産 ■ 固定資産 ■ 流動資産



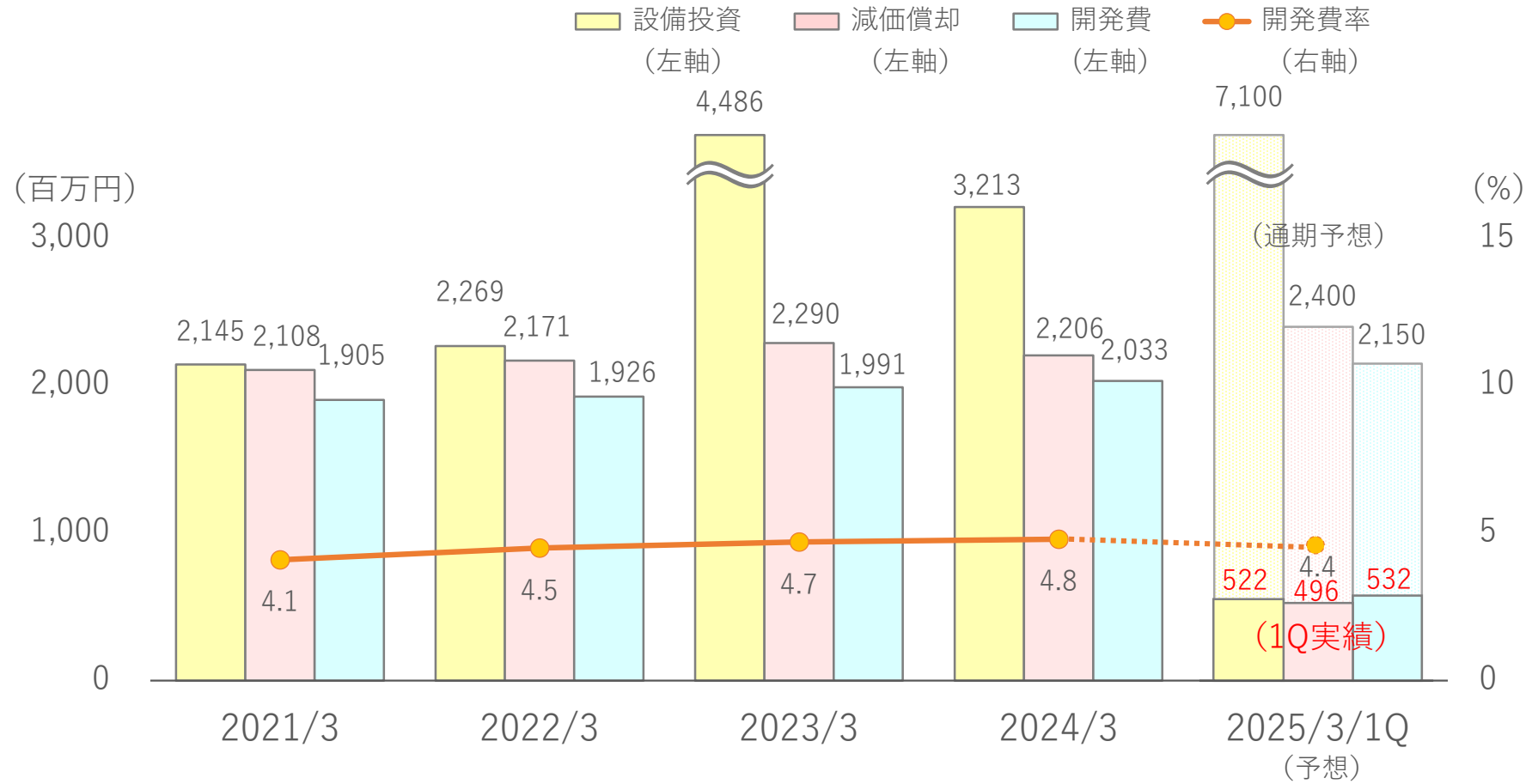
負債・純資産の部

(百万円)
100,000

■ 純資産 ■ 固定負債 ■ 流動負債



■ 設備投資・減価償却費・開発費の推移



本資料は、株式会社有沢製作所（以下当社）による口頭説明によって補完され、かつ、かかる説明との関連性において検討されるべきものです。当社の事前の書面による同意なしに、本資料およびその内容をいかなる目的にも使用することはできなく、また本資料の内容を公表する権利もしくは第三者に開示する権利を付与するものではありません。

本資料に示されている情報は、当社経営陣の予測に基づくもの、あるいは本資料作成時点における実勢および当社の見解に依拠したものであり、予告無しに変更されることがあります。当社は、公の情報源から入手した情報、その他当社の検討した情報が全て正確かつ完全であることを前提に本資料を作成しており、これらの情報について独自の検証は行っておりません。